2020 年 6 月 18 日

SPAC 学校訪問プロジェクト「ひらけ！パフォーミングアーツのとびら」
打楽器で会話する、“ウィズコロナ”の新しい演劇作品
出前劇場『音芝居（おとしばい）』

報道各位

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

SPAC では、昨年度より SPAC の俳優・スタッフが静岡県内の小・中・高校や特別支援学校、放課後児童クラブなどに訪問し、子どもたちが舞台芸術に触れる機会を提供する、SPAC 学校訪問プロジェクト「ひらけ！パフォーミングアーツのとびら」を実施しています。

今年度は全 25 カ所での実施を予定しており、**6 月 23 日（火）には今年度最初のアウトリーチ公演として、新作『音芝居』を浜松市天竜区の熊小学校にて上演いたします。**

衣裳デザイン案

狂言の『棒縛り』をベースに、出演俳優は台詞を声には出さず、多種多様な打楽器で会話をするなど、これまで俳優による生演奏で多くの観客を魅了してきた SPAC ならではの“ウィズコロナ”の演劇作品となっています。録音した音声を用いたり、衣裳にフェイスガードを組み込むなど様々な工夫がちりばめられています。また、劇中にはリズム遊びが盛り込まれ、子どもたちも参加しながら、俳優の身体から放たれるエネルギーを肌で感じることで、子どもたちが持つ想像力や発想する力を育みます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事などの大幅な見直しが行われているなかでも、SPAC 学校訪問プロジェクトの実施を希望する声が多く寄せられています。急激な環境の変化や、学校生活においても様々な行動の制限により、子どもたちのストレスが課題となっている昨今、物理的な距離を保ちながらもコミュニケーション可能な「表現」の多様性を伝え、舞台芸術を通じて子どもたちの心に寄り添えるような活動を展開してまいります。

つきましては、ぜひ皆様のご取材ならびにご紹介を賜りたく、ご案内申し上げます。また、上演の様子がわかる映像のご提供や、出演俳優へのリモートでのインタビューも対応できますので、ご検討のほど何卒よろしくお願いいたします。

静岡県 子どもが文化と出会う機会創出事業
SPAC 学校訪問プロジェクト「ひらけ！パフォーミングアーツのとびら」

『音芝居（おとしばい）』

演出・構成：棚川寛子
出演：加藤幸夫、貴島豪／声：本多麻紀（録音）

日時 **6 月 23 日（火）13:50 開演（予定）**
会場 **浜松市立熊小学校内**（431-3641 浜松市天竜区熊 2153）

＜あらすじ＞
楽器好きな女王様の留守中、大切なコレクションの楽器の手入れを命じられた二人の家来。真面目に働いていたのもつかの間、女王様の楽器を鳴らして遊びだしてしまう。どんちゃん騒ぎのなか、女王様が帰ってきてしまい・・・。

出前劇場『音芝居』に関するお問合せや取材のお申込みは、
「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 計見」までご連絡下さい。
Tel：054-202-4008（舞台芸術公園） ／ Fax：054-203-5732 ／ E-mail：keimi@spac.or.jp

SPAC SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER 芸術総監督 宮城聰